

一般質問

松村議員

公教育の責務と授業時間確保への取り組みについて

Q 質問 公教育の責務として、学習指導要領に定められた内容などの程度まで児童生徒に理解させることを目標とするのか。

A 答弁 全ての児童・生徒が学習内容をしっかりと理解することを目指しているが、実際には習熟スピードの違いがあるため各学校では「楽しく、分かる授業」に向けて日々改善努力している。

Q 質問 現在の授業時間数は足りているのか。

A 答弁 学校教育法施行規則による時間数の中で効果的な学習活動を行うよう、努力しているが、一部の児童・生徒に対しては、補習等の形で、習熟度を高めるための取り組みも行っている。

Q 質問 二学期制のメリットとデメリットは。

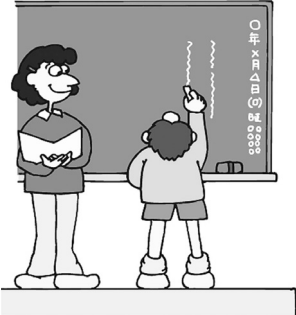
A 答弁 メリット①終業式などの行事や定期テスト数を削減できるため授業数が5〜10時間程度多く確保できる。②ひとつの学期

が長いため、長いスパンで細やかな評価と指導ができる。③通知票作成や保護者会等の回数が減り、その分児童・生徒の指導に時間をあてることができる。

デメリット①夏季休業と冬季休業を間に挟んで学期が続くため、指導計画の分割、復習に長い時間が必要となる。②期末テストによる評価がないまま夏季休業等に入る。③高等学校は三学期制のままそまで小中学校だけが二学期制のため齟齬そご（くい違い）が生じる。

Q 質問 各学校にエアコンが整備されている状況下で、夏休みの短縮による授業時間数の確保を視野に入れるべきと考えるが所見を伺う。

A 答弁 二学期を早めに始めることは法的には可能ではある。このことについては、教員の意見や考え方を十分聴き、もちろん夏休みを短縮するとすれば保護者の皆さんからもご意見を伺い、検討すべきものと考えます。



トピックス

永年勤続表彰

4月24日に開催された北信越市議会議長会定期総会、及び5月28日に開催された全国市議会議長会第90回定期総会で、加藤一二議員、松村治門議員の両名が10年以上議員在職の表彰を受けられました。



加藤一二議員



松村治門議員